

2024年度(令和6年度) 大雪山ツアーズ事業報告

1 基本計画

- 1 「北の山岳リゾート」の魅力向上と環境に配慮した持続可能な観光地としてブランド力の向上を推進する
- 2 訪日外国人の需用拡大を確実に取り込みアドベンチャーラベルの推進と観光DXのモデル事業を展開する
- 3 「層雲峠インフォメーションセンターを中心とした体験商品や特産品の販売を通じて農・商・観の連携を促進する
- 4 域内の連携をより深化させ イノベーション推進協議会を中心に町・商工会・JAとの関係性を高めていく

① 北海道観光機構 補助事業 伴走支援【火祭り・奇跡のイルミネーション】

多言語デジタルガイドデッキの運用

事業目的：外国人客が増えている峡谷火祭りの内容やアイヌの伝統舞踊についての説明を来場者のスマートフォンを使って多言語化翻訳、テキストと音声読み上げ機能を使って解説し上川アイヌ文化の理解を深めてもらう

桟敷席周辺にQRコードを掲示し、母国語に翻訳されたガイド解説を提供 113名の利用があった。



② 農水省 農山漁村発イノベーション推進事業（2年目）

事業目的：層雲峠観光案内所の機能強化が目的。体験観光の販売拠点としてのPRを強化すること、農産品などの地元の特産品の宣伝と販売を行い、「観・農・商」の連携を推進する。

7月15日から10月14日まで層雲峠インフォメーションセンターのスタッフを3名体制とし、地域の特産品のアンテナショップとしてJAのきのこご飯の素、そば、もちごやマムさんの大福、石山農園のミニトマト、キヌバリコーヒーの焼き菓子やふたばさんの鹿肉などの販売を行った。8月1日から10月16日までは常駐スタッフを2名体制とし、電動自転車、キックボードのレンタル業務とツアーの受付、物販業務を開始した。



③ 案内所スタッフ同行のロープウェイあまいようの滝ツアーの販売
(2組5名参加)を実施。

地域の森林資源や農園を使ったマウンテンバイクや収穫体験のモニターツアーを実施した。又、7月に札幌の学習塾の夏休み合宿の受け入れを日本旅行・朝陽亭で行い、60名の小学生を対象に地元木材を使ったワークショップを開催した。

案内所 特産品販売実績額 253,890円
レンタサイクル 97,000円
体験観光販売 199,000円 合計 549, 890円



④ インフォメーションセンターで販売していた地域の特産品のPR販売と層雲峡の観光PRを兼ねた物産展を札幌駅どさんこプラザとイオン発寒店で行った。

2か所売り上げ合計 535.228円



⑤ 国内外へのプロモーション活動
層雲峡の各ホテル営業の人脈などを通じ 国内外の旅行会社・航空会社などへセールス活動を実施した。

国内：東京・名古屋・大阪 春と秋に 計2回実施
海外: 香港、台湾（誘致協合同） 韓国2回実施



⑥ 町内地元再発見ツアーの販売

氷瀑祭り50周年を記念した50才無料ツアーの販売を行い4名の申し込みで実施した。



⑦ 町内飲食店と温泉ホテルとの商談会の開催

商工会と協力して、町内のカフェ、飲食店、などのみなさんと、層雲峡温泉各ホテルの売店・飲料部門の方との町内事業者商談会と研修会を開催した。

上川大雪酒造・サンアース・もちごやマム・森本金物店・KINUBARI COFFEE・ふたばインテリジェンス・ビックスノードライブイン・王子サーモン



⑧ デジタルサイネージ動画の制作

層雲峡の各ホテルフロント前で放映中のサイネージ動画の更新を行った。

又北海道観光機構道北分科会と協働で旭川空港の出発ロビーにて当社のサイネージを展開。道北各地と氷瀑まつりのPRを行った。



⑨ 道銀総研×札幌国際大学 観光地アンケート調査の実施。

夏1回 冬に2回 対面アンケートを実施 当社設定のKPIの達成度合いなどの調査を行った。

*観光庁のHPにて公開されている形成計画に反映

⑩ イノベーション推進協議会の開催 【町・商・農・交通・他、未来観光戦略プロジェクト・EFC志水代表など】

コロナ禍で開催を見送っていたイノベーション推進協議会の一回目の会議を2月12日に開催。新し委員の方々に令和7年度計画の概要などを提案、継続した活動をそしていくことで賛同をいただいた。